

# 第66回 伊賀地区駅伝競走大会 アポロ興産チーム出場！ 繋つながら！

リビングサービス課 大森 力

毎年1月の最終日曜日に行われている伊賀地区駅伝に今年も出場しました。すでに当社では恒例行事になりつつあります。この時期が近づくともどことなく「今年は誰が走るの？」や「そろそろ練習しやな！」などの声が聞こえてきます。

当社はLPガス販売を主にする会社ですが、その他重油や潤滑油の販売、住宅リフォームと不動産、ガソリンスタンドサガミSSの部門に分かれています。日常はあまり一緒に仕事を行う機会がありませんが、これを機会に各部門間のコミュニケーションが図れることと健康促進が目的でもあります。

今回は2チーム編成で、真剣に走ろうのチーム「アポロ興産」と、走りを楽しもうがモットーで初の女性1名を加えたチーム「アポロ興産エンジョイズ」2チームで出場する事となりました。以下が出走メンバーです。

## 18 アポロ興産

1区：リビングサービス課 中川

2区：リビングサービス課 大森

3区：ガス課 森田 → ガス配送課 東山(トウヤマ)

4区：サガミSS 東山(ヒガシヤマ)

5区：ガス課 中岡

## 19 アポロ興産エンジョイズ

1区：サガミSS 中

2区：外販課 吉澤

3区：ガス課 森本

4区：ガス課 宇都宮

5区：外販課 西口

1月に入り、朝から夕方まで仕事を終えてから合同練習を始めました。私は連日研修が入り、中々練習に参加することができませんでした。他のメンバーも仕事を立て込み練習に参加する数も徐々に減ってしまいました。

しかも、足の指を負傷し完走できるかの状態が一名、体調が振るわない者1名。また、大会直前に3区の森田がインフルエンザの疑いで、サブメンバーのガス配送課東山(トウヤマ)へ変更となりました。

大会当日は、10時天候は晴れでしたが、気温は3度、風速は6mあり体感気温は-3度でした。また、大雪による交通障害などへの警戒のため、未明から「予防的通行止め」が続いており、今までで一番寒いと確信しました。

男子の部は52チーム、女子の部は5チーム、オープン部は18チームの計75チームが10:00、ゆめが丘の伊賀市教職員住宅前を1区2.8kmがスタート！ 1区はゆるい登坂が続きますが比較的距離が短いのでスピードに自信がある選手が多いようです。1区のエンジョイズの中が38位で2区の吉澤へ、中川が43番目で大森へタスキをつなぎました。

2区は伊賀森林組合前から住宅地を抜けて伊賀市上下水道部前までの3.4kmです。2区ではあまり差は大きくなく混戦状態が続きます。2区吉澤が12人に抜かれてしまい50位に、大森は8人抜いて35位で3区のエンジョイズ森本、東山(トウヤマ)へつなかりました。

3区は最も長い距離の伊賀市上下水道部前から伊賀森林組合前3.7kmでエース区間です。急遽変更の東山(トウヤマ)は十分な練習のないままの出走で15人に抜かれ42位、森本は1人抜き49位に浮上。

4区は東山(ヒガシヤマ)は2区と同じコースの3.4kmです。あまり練習が出来ていなかったとのことですが4人を抜き38位に浮上、練習の成果が出たのか初参加のエンジョイズ宇都宮は1人を抜き48位に浮上で5区アンカーへつなかりました。

5区は伊賀上下水道部前からスタート地点であった伊賀市教職員住宅前がゴールの、1.8km。5区は距離が一番短い分、一番ダッシュを続けなければならない区間です。昨年に引き続きアンカーの中岡が猛ダッシュを続け一人も抜かれることなく38位で、エンジョイズ西口も48位でフィニッシュとなりました。

総合タイムはアポロ興産チームが1時間11分07秒。昨年より30秒届きませんでした。エンジョイズは1時間21分27秒となりました。

選手全員が無事、けがもなく完走できたことは大変良かったと思います。今年は負傷者、体調不良、急遽選手変更等バタバタでした。来年こそは準備をしっかりと行い、更なるチームワークを高めて好タイムを出したいと思います。

最後に運営して頂いた伊賀市実行委員の方々や、歩道で応援を頂いた方々、その他ご協力頂いた方には感謝いたします。ありがとうございました。



# アポロ新聞

## 防災士の資格を取得しました。

代表取締役社長 家喜 正治

近年、資格として注目されている「防災士」の認証を昨年9月に得ることが出来ました。かねてから「アポロ新聞」でも話題として取り上げられてきましたが、私の備忘録として、今回の記事のテーマと致します。

防災士の定義ですが、「防災士とは“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを、日本防災士機構が認証した人です。」と定められています。資格取得には、知識技能を得るために講習をうけて、認証されるための試験に合格する必要が有ります。

あくまでも私の体験であり、各地域での違いがあることをお断りします。4月になって四日市大学で行われる防災士養成講座に申し込みました。受講料は24,000円です。テキスト代、講師料、試験受験料・登録費用などの経費が含まれています。

講習は三日間に及びます。先ず5月17日と18日。両日とも朝の8時50分から16時50分まで、合計12コマのカリキュラムをしっかりと受けなければなりません。事前課題として、当日までにテキストの解説動画をYouTubeで視聴し、レポートにまとめなければなりません。テキストは21講+補講4講の合計25講あり、このレポート作成に思った以上に時間を割かれました。簡単にはいきませんね。各講義は、多方面からの専門講師が来ていただき有意義なものでした。演習等もあり、しっかり学べた感があります。

また、防災士の認証を得るには、日本防災士機構が防災士認証要件として認めている救命講習を受けた修了書が必要になります。救命講習は過去に受けていましたが、私の場合2021年4月より前なので要件から外れました。そこで伊賀市消防本部にて6月17日に普通救命講習Ⅰを修了しました。改めて救命講習を受け、内容が過去に受けたものよりアップグレードされており、救命技術の維持向上には定期的に講習を受ける必要があるなと感じました。この気づきを得られたことも収穫です。

三日目の講習は8月3日です。それまでにレポートを完成させます。受付で顔写真を貼付した防災士認証登録申請書と救命講習修了証コピーを提出。午後13時から15時10分まで2コマのカリキュラムを受けて、講習は修了です。休憩の後、15時40分から防災士試験を受けることとなります。日本防災士機構からの担当者2名が試験監督にあたります。試験時間は50分、30問出題、3択式、問題はテキストから出題されます。24問以上の正解で合格です。国家試験の合格は60%以上というケースが多いのですが、今回は80%以上が求められます。重箱の隅をつつくような難問は少なく、しっかりと学習すれば答えられますが、80%以上なので油断は禁物でしょう。なお、試験問題並びに正解答は公表されません。不合格の場合も、定められた時期までは再受験も可能とのこと。

2日半の講習で取得できると安易に思って養成講座を受けましたが、なかなかの時間と労力を必要としました。それでも、近年の災害の多さを鑑みますと、チャレンジして良かったなと思います。当社には既に私を含めて8名の防災士がおりますが、これからも資格取得の推進を図っていきたく思います。